

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命



2011年3月期 第3四半期決算報告

2011年2月10日
第一生命保険株式会社

第一生命

決算のポイント

- 中核事業の営業指標の改善が続く。主力商品の販売が好調で、第一生命単体の新契約高は前年同期比で13.9%増加。解約失効高は同25.0%減少
- リスク性資産の圧縮など、財務健全性の強化に向けた取組みが進展。また昨年12月28日には、持分法適用関連会社である豪タワー社の完全子会社化を発表
- 有価証券評価損を691億円計上したものの、第一生命単体の個人保険分野における新契約の獲得が引き続き好調であること、解約・失効の改善による営業面での業績が順調に推移していることに加え、一定程度の資産運用損益の改善等を見込むことから、2010年5月14日に公表の2011年3月期通期連結業績予想については変更なし

第一生命

連結主要業績

- 連結経常収益は、第一生命単体では増加したものの、第一フロンティア生命で販売が急増した前年同期からの反動もあり、減少
- 連結経常利益は、第一生命単体の有価証券評価損の計上などが影響

(億円)

	10/3期 3Q累計	11/3期 3Q累計	増減率
経常収益	40,137	34,016	△15%
第一生命単体	31,654	31,877	+1%
経常利益	1,325	1,062	△20%
第一生命単体	1,339	1,138	△15%
四半期純利益 ⁽¹⁾⁽²⁾	355	156	△56%
第一生命単体	369	224	△39%

(1) 前年同期との比較を可能にするため、10/3期3Q累計については、11/3期3Q累計と同様に契約者配当準備金繰入額を計上したと仮定し、10/3期に計上した契約者配当引当金繰入額925億円に3/4を乗じた金額を、四半期純剰余より控除しています。

(2) 第一生命は10/3期3Qにおいて相互会社でありましたが、四半期純剰余に代えて四半期純利益と記載しています。

連結損益計算書・連結貸借対照表(要約)

連結損益計算書(要約)⁽¹⁾

(億円)

	10/3期 3Q累計	11/3期 3Q累計	増減
経常収益	40,137	34,016	△6,121
保険料等収入	28,701	25,085	△3,615
資産運用収益	9,322	6,801	△2,521
うち利息・配当金等収入	5,107	5,012	△95
うち有価証券売却益	1,906	1,609	△296
うち金融派生商品収益	-	149	+149
うち特別勘定資産運用益	2,253	-	△2,253
その他経常収益	2,113	2,129	+16
経常費用	38,811	32,953	△5,857
うち保険金等支払金	19,197	19,262	+64
うち責任準備金等繰入額	10,405	4,287	△6,118
うち資産運用費用	2,492	2,935	+442
うち有価証券売却損	1,045	879	△166
うち有価証券評価損	582	691	+108
うち特別勘定資産運用損	-	639	+639
うち事業費	3,514	3,182	△331
経常利益	1,325	1,062	△263
特別損益	△172	△170	+2
契約者配当準備金繰入額 ⁽¹⁾	693	600	△93
税金等調整前四半期純利益 ⁽¹⁾⁽²⁾	459	292	△167
法人税等合計	107	144	+37
少数株主利益(△は損失)	△2	△9	△6
四半期純利益 ⁽¹⁾⁽²⁾	355	156	△198

連結貸借対照表(要約)

(億円)

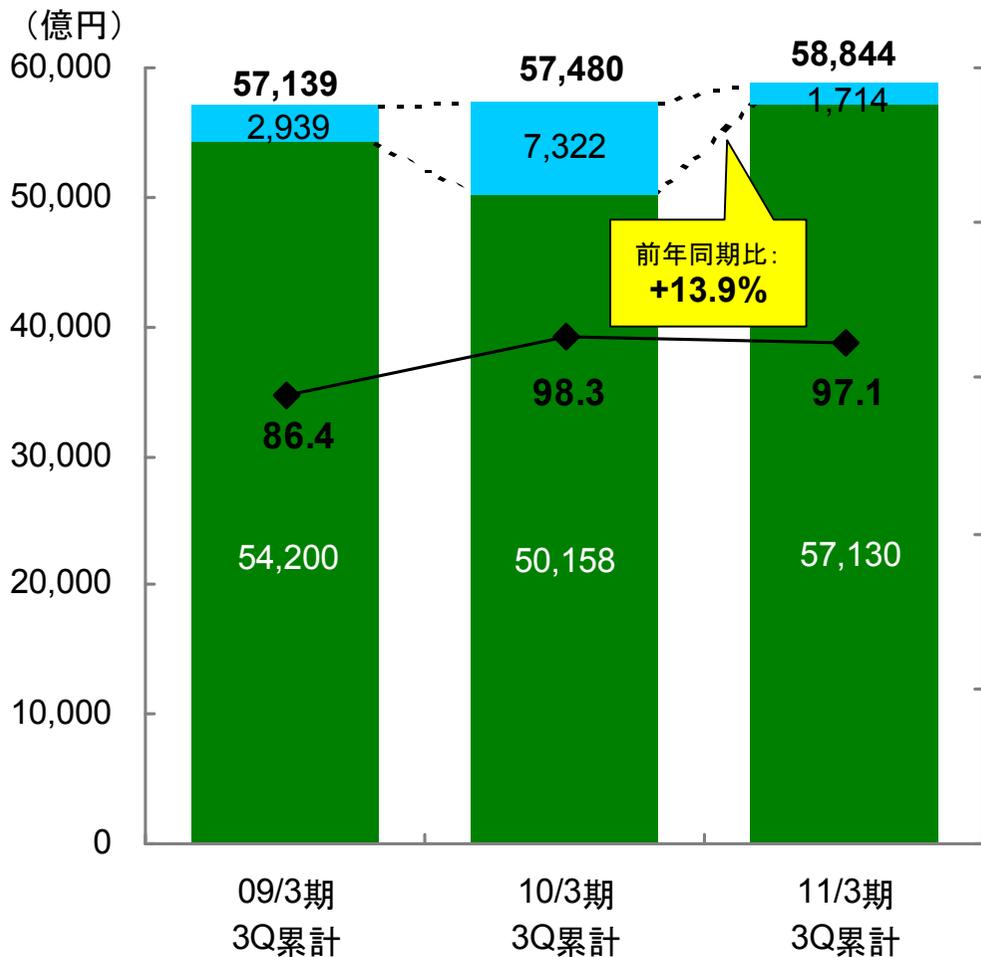
	10/4始	10/12末	増減
資産の部合計	321,042	323,875	+2,832
うち現預金・コール	4,373	4,266	△106
うち買入金銭債権	2,898	2,956	+57
うち有価証券	251,473	254,312	+2,839
うち貸付金	38,349	36,984	△1,365
うち有形固定資産	12,440	12,899	+459
うち繰延税金資産	3,395	4,072	+677
負債の部合計	311,400	315,560	+4,159
うち保険契約準備金	292,047	295,988	+3,941
うち責任準備金	286,326	290,528	+4,201
うち退職給付引当金	4,114	4,263	+149
うち価格変動準備金	1,155	1,260	+105
純資産の部合計	9,641	8,314	△1,327
うち株主資本合計	5,587	5,658	+71
うち評価・換算差額等合計	3,936	2,546	△1,390
うちその他有価証券評価差額金	4,622	3,235	△1,387
うち土地再評価差額金	△635	△650	△15

(1) 前年同期との比較を可能にするため、10/3期3Q累計については、11/3期3Q累計と同様に契約者配当準備金繰入額を計上したと仮定しています。具体的には、10/3期に計上した契約者配当引当金繰入額925億円に3/4を乗じた金額を、契約者配当準備金繰入額として記載し四半期純剰余より控除しています。

(2) 第一生命は10/3期3Qにおいて相互会社でありましたが、四半期純剰余に代えて四半期純利益と記載しています。

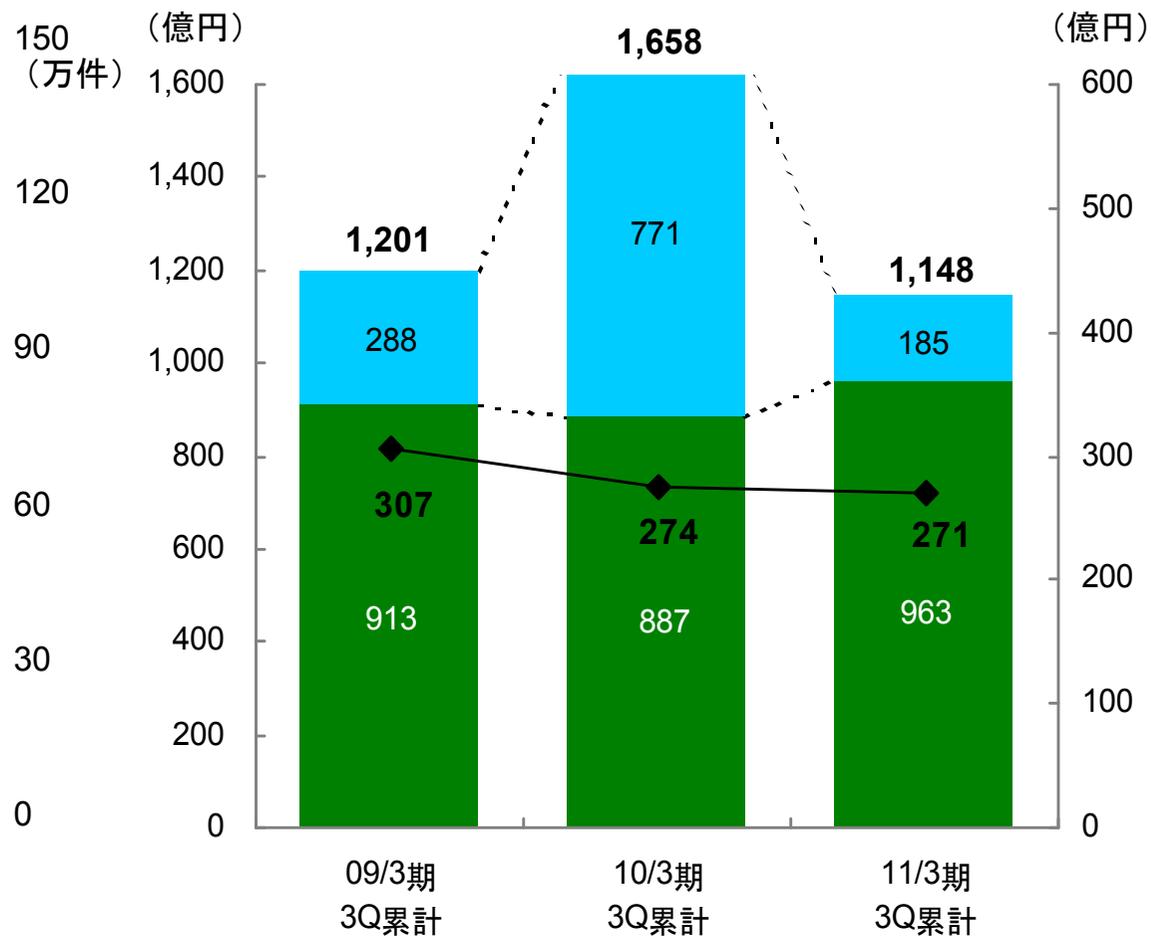
新契約動向(個人保険・個人年金保険)

新契約高⁽¹⁾



■ 第一生命 ■ 第一フロンティア生命 ◆ 件数(右軸)

新契約年換算保険料⁽¹⁾

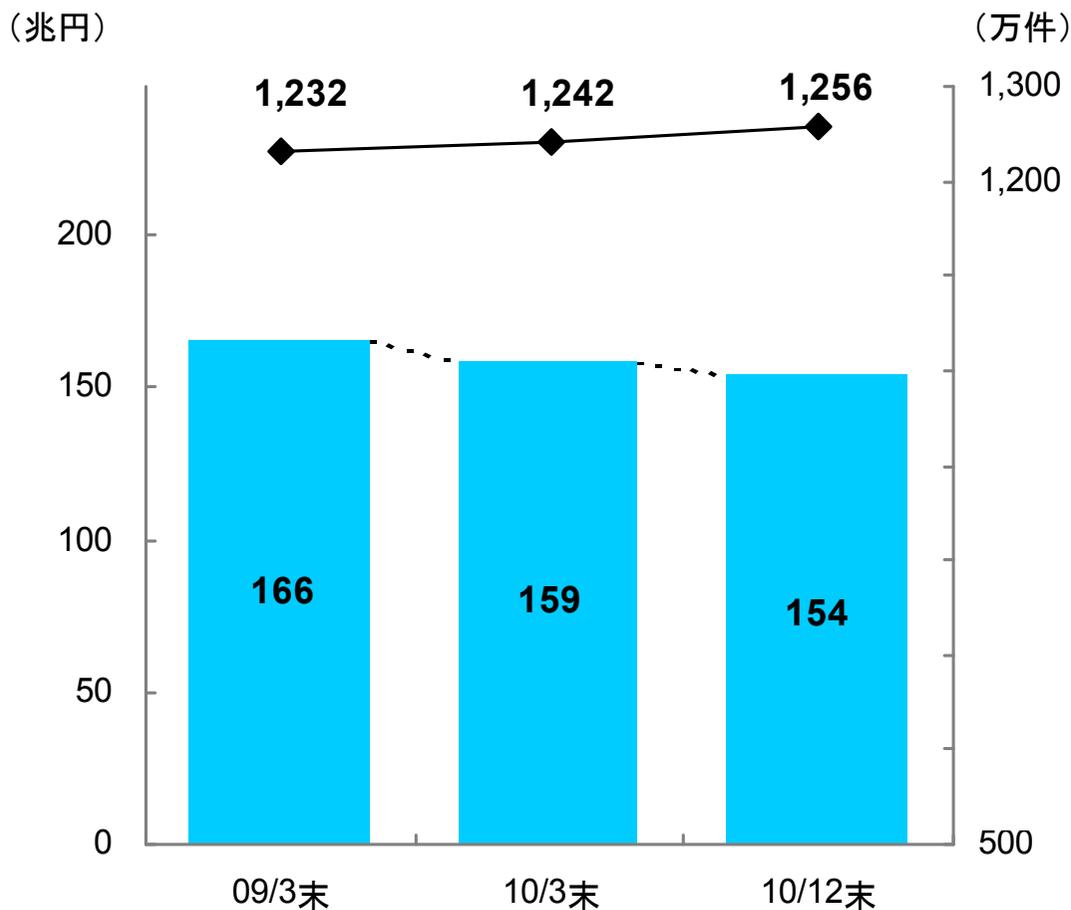


■ 第一生命 ■ 第一フロンティア生命 ◆ うち第三分野(右軸)

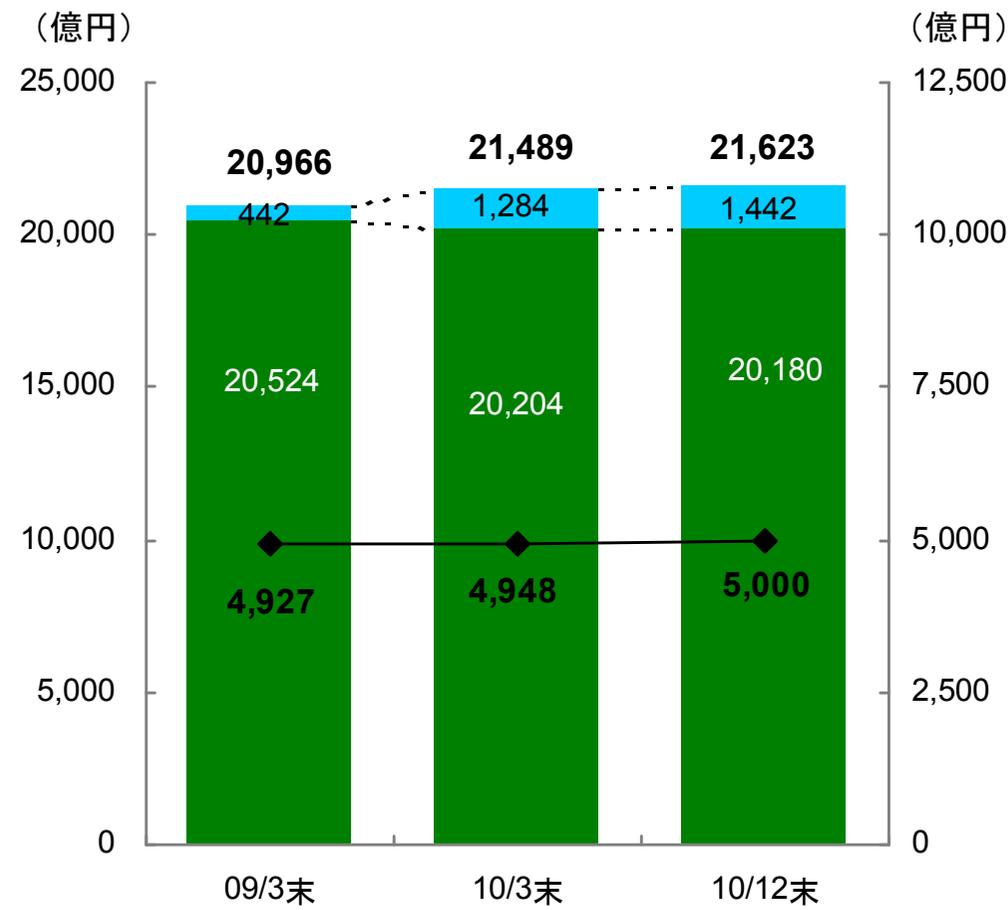
(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

保有契約動向(個人保険・個人年金保険)

保有契約高⁽¹⁾



保有契約年換算保険料⁽¹⁾



金額 —◆— 件数(右軸)

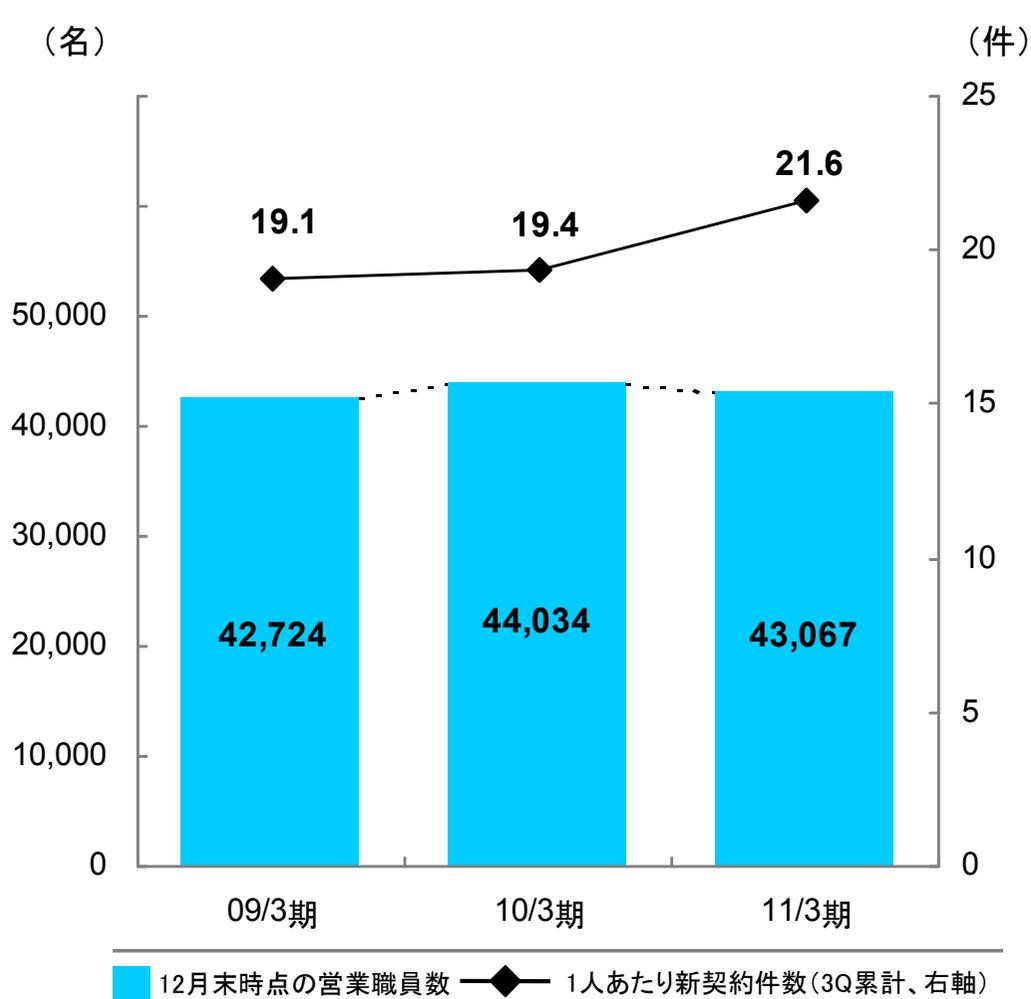
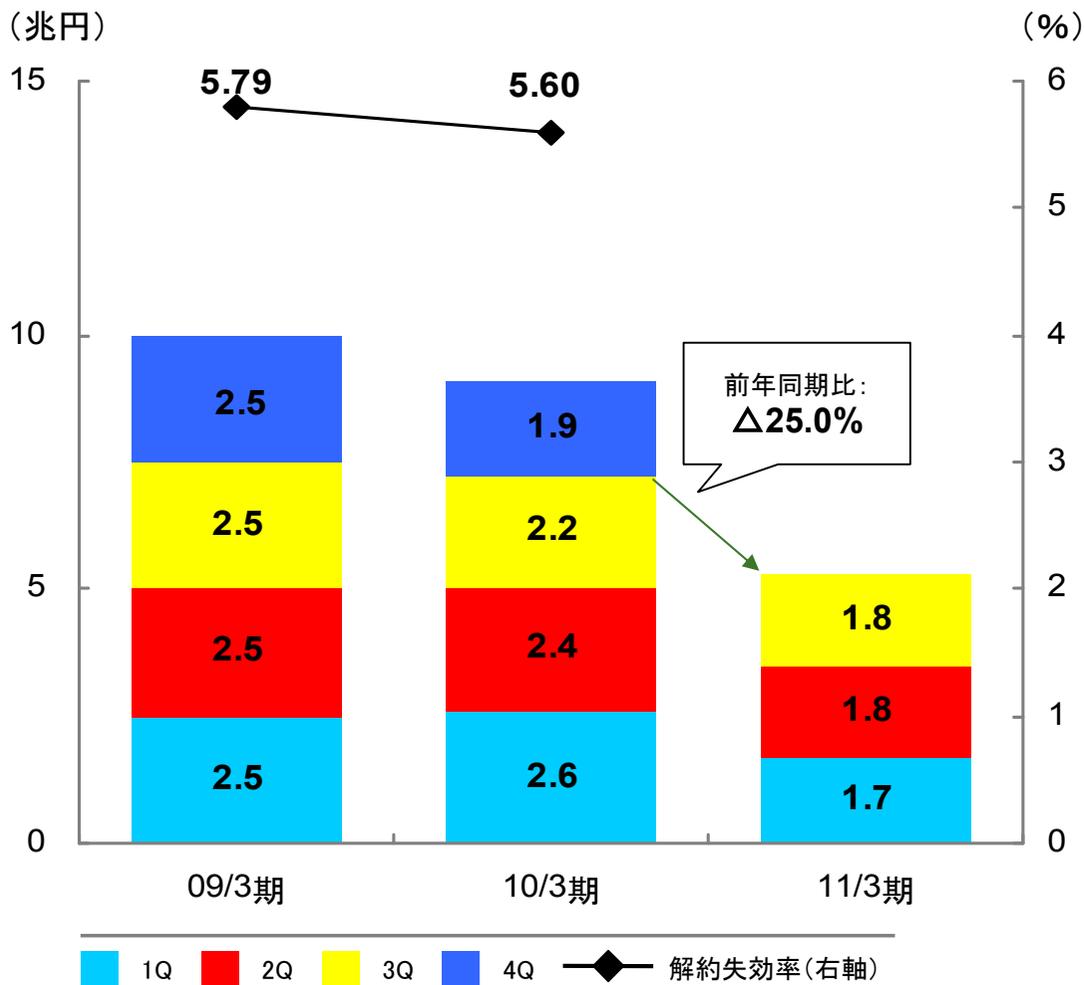
第一生命 第一フロンティア生命 —◆— うち第三分野(右軸)

(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

解約失効高、営業職員数および生産性

解約失効高(個人保険・個人年金保険)⁽¹⁾

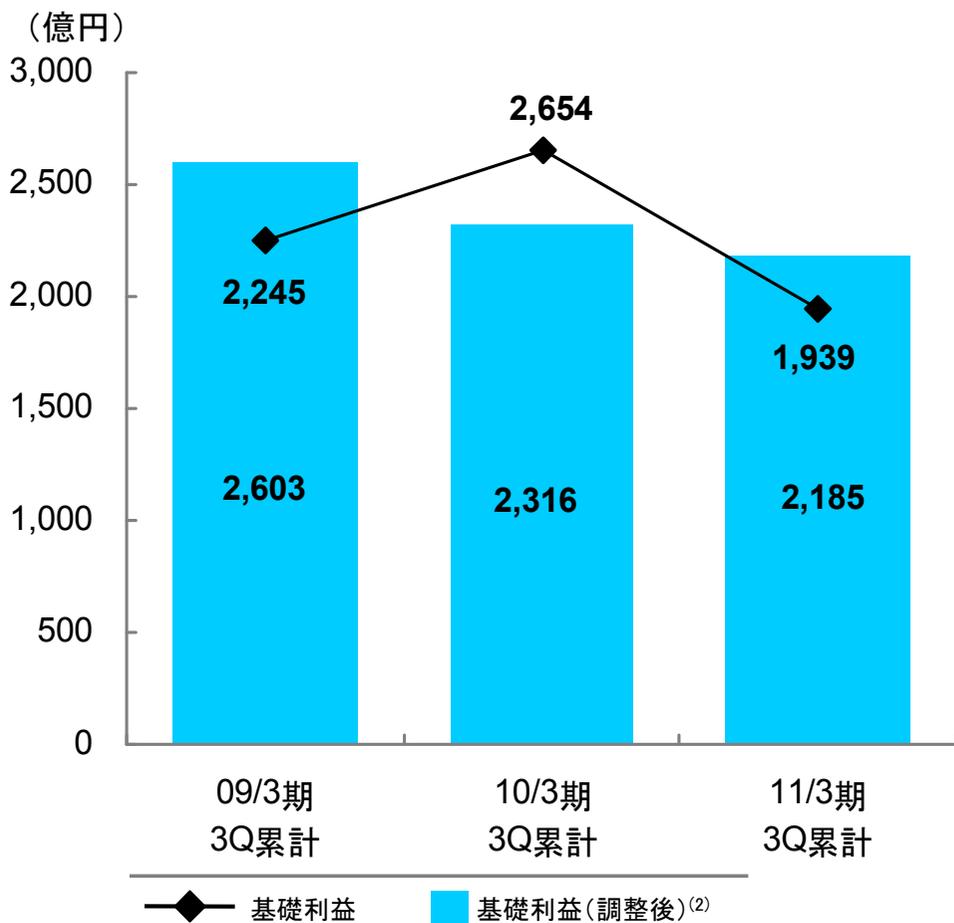
営業職員数および生産性⁽¹⁾⁽²⁾



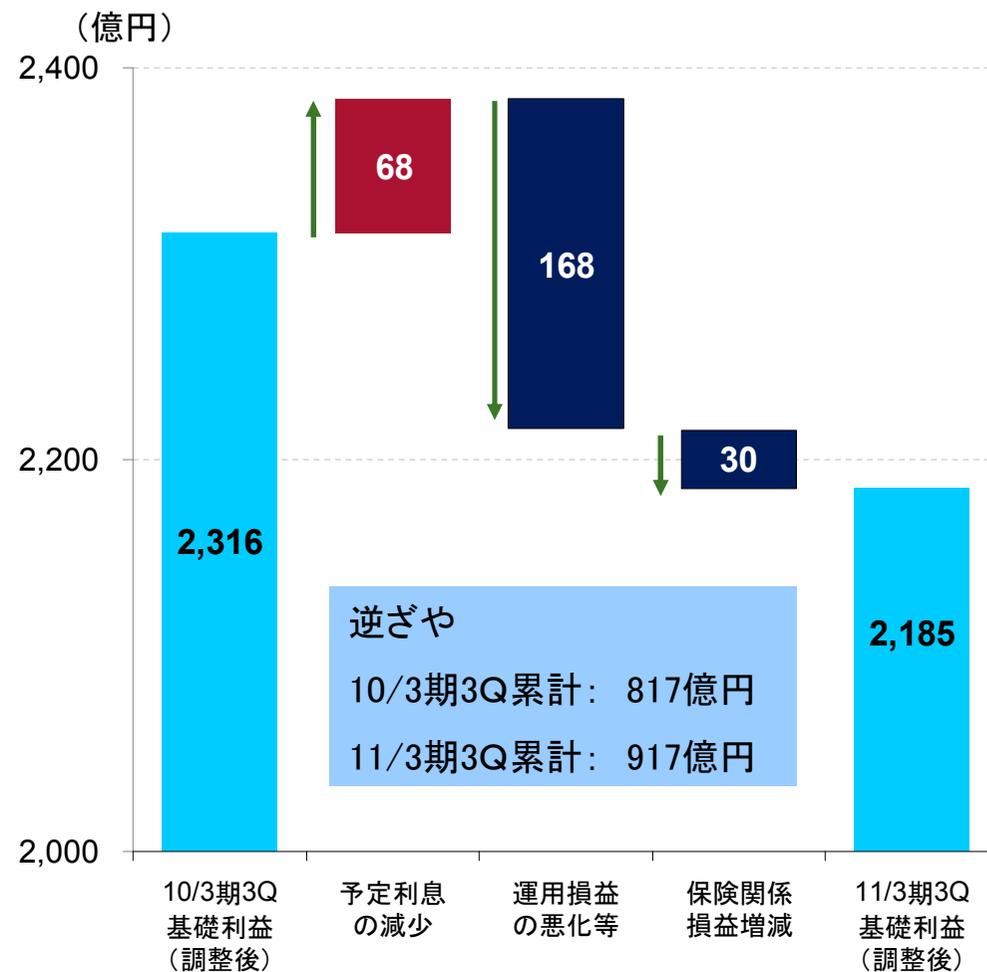
(1) 第一生命単体ベース

(2) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。

基礎利益⁽¹⁾



基礎利益(調整後)の変動要因⁽¹⁾⁽²⁾

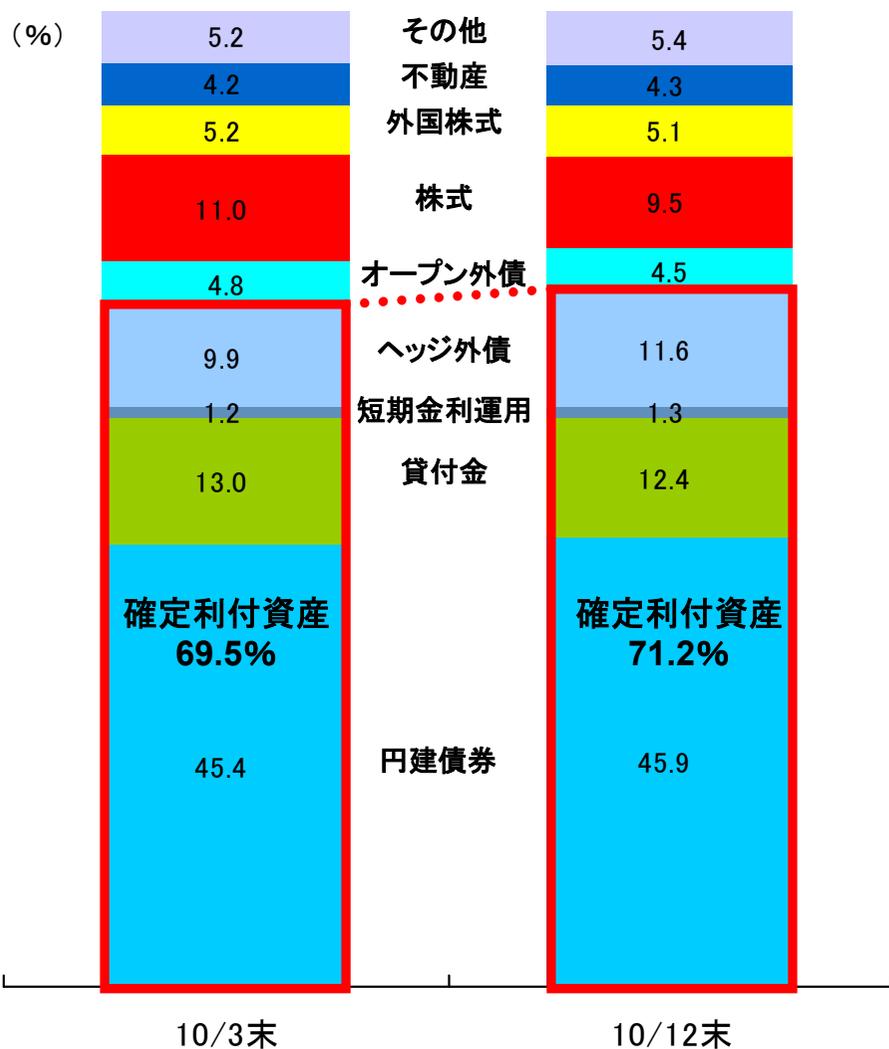


(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース
 (2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

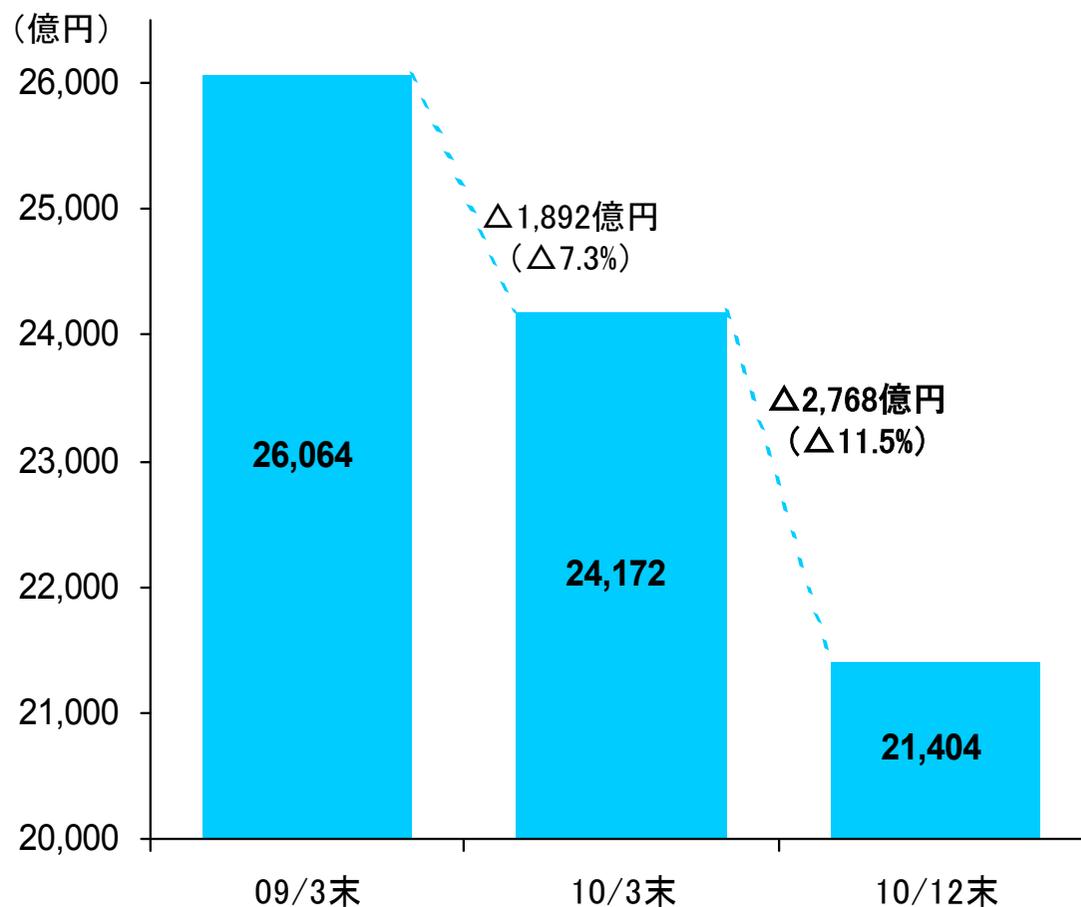
第一生命

一般勘定資産の状況

資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾



国内株式の簿価⁽¹⁾⁽²⁾



(1) 第一生命単体ベース

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)

第一生命

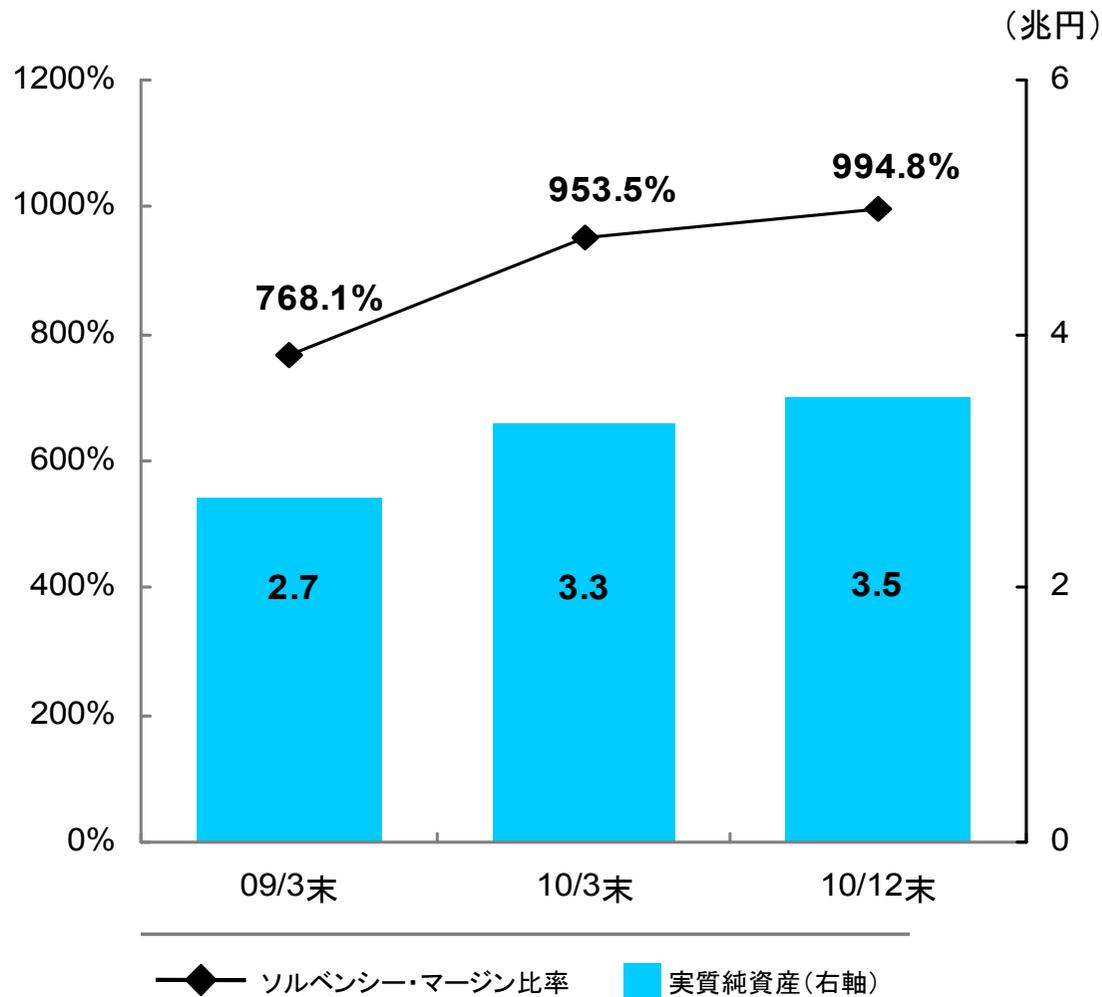
健全性指標

含み損益(一般勘定)⁽¹⁾

(億円)

	10/3末	10/12末	増減
有価証券	8,514	9,268	+754
国内債券	2,657	6,600	+3,942
国内株式	5,225	3,635	△1,590
外国証券	598	△1,014	△1,612
不動産	908	709	△198
その他共計	9,420	10,022	+602

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額⁽¹⁾

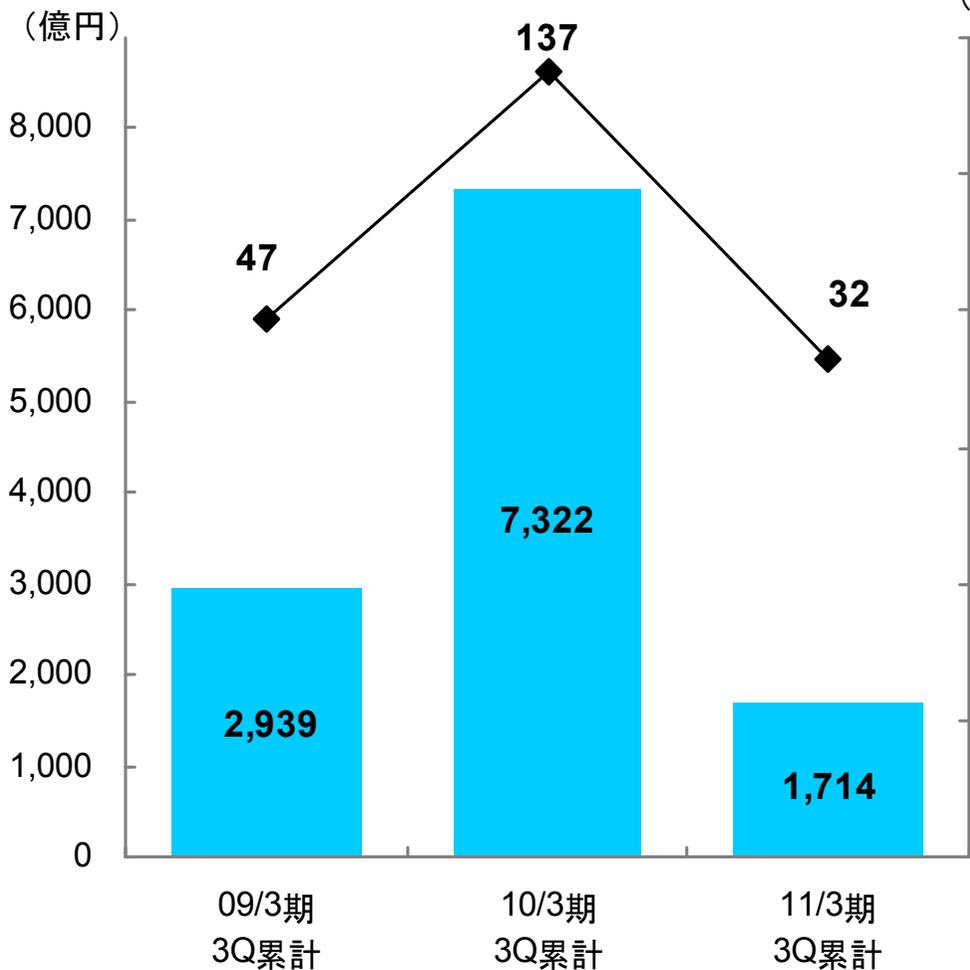


(1) 第一生命単体ベース

第一生命

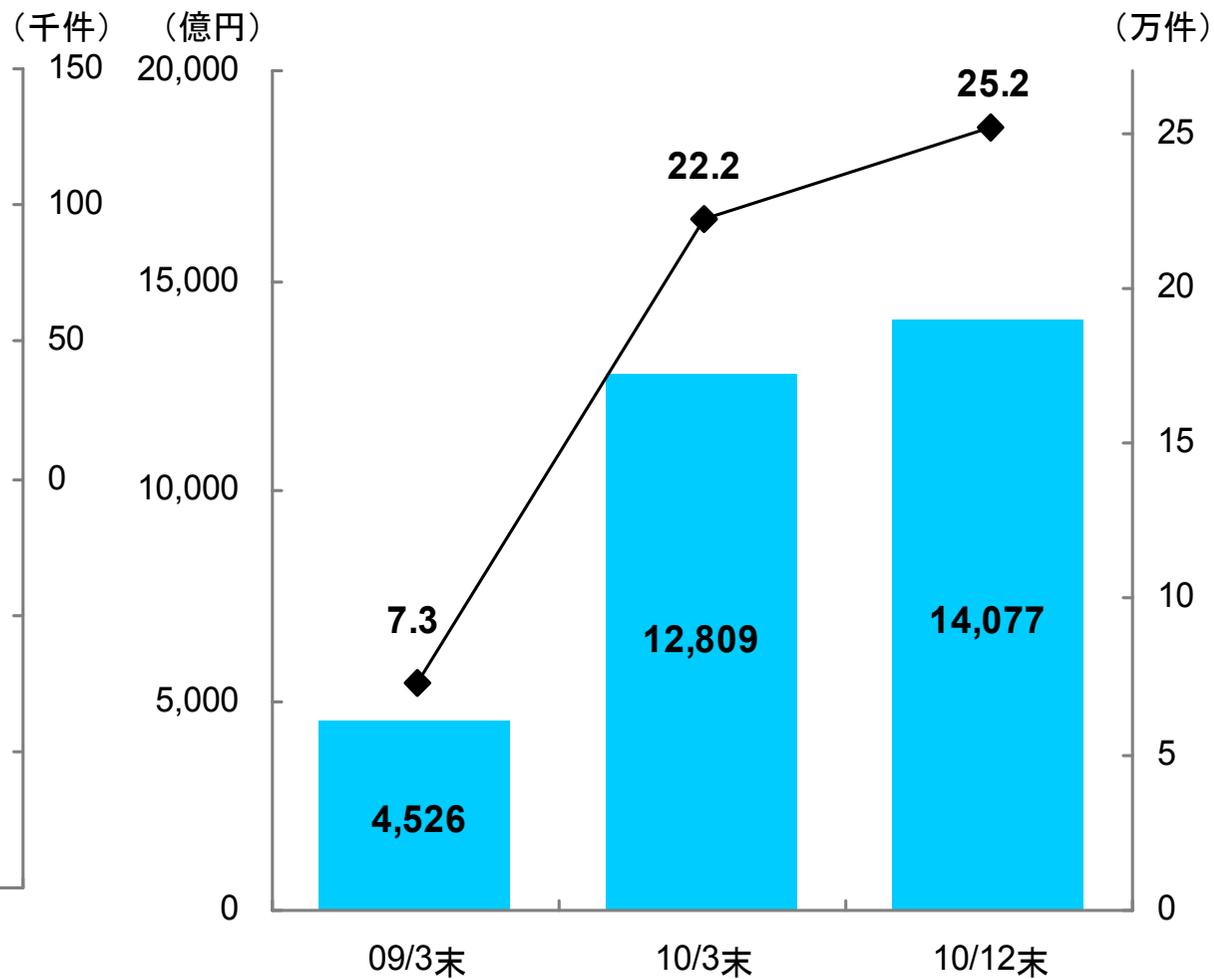
第一フロンティア生命①

新契約高



■ 金額 ◆ 件数(右軸)

保有契約高



■ 金額 ◆ 件数(右軸)

第一生命

第一フロンティア生命②

収支の状況

(億円)

	10/3期 3Q累計	11/3期 3Q累計	<参考> 11/3期 通期予想
経常収益	8,481	2,083	3,500
うち保険料等収入	7,762	2,051	
うち変額年金	6,732	1,525	
うち定額年金	562	184	
うち資産運用収益	716	32	
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	-	16	
経常費用	8,520	2,181	
うち責任準備金等繰入額	7,784	1,258	
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(△は戻入)(B)	△ 308	242	
うち危険準備金繰入額(C)	342	12	
うち資産運用費用	74	229	
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(D)	71	-	
経常利益(△は損失)	△ 39	△ 97	△ 160
当期純利益(△は損失)	△ 39	△ 94	△ 160
当期純利益 - (A) + (B) + (C) + (D)	66	143	



2011年3月期業績予想

- 昨年5月14日に公表した通期業績予想は変更なし。第一生命単体の保険営業業績が順調に推移していることに加え、一定程度の資産運用損益の改善等を見込む

(億円)

	10/3期	11/3期(予)	増減
経常収益	52,940	43,260	△9,680
第一生命単体	43,315	39,720	△3,595
第一フロンティア	9,613	3,500	△6,113
経常利益	1,882	1,950	+67
第一生命単体	1,936	2,090	+153
第一フロンティア	△83	△160	△76
当期純利益	556	500	△56
第一生命単体	608	620	+11
第一フロンティア ⁽¹⁾	△76	△144	△67
1株当たり配当金	—	1,600円	—

(※)上記とは別に、組織変更時の定款附則第2条の規定に基づき2010年4月16日を基準日として、
第1回株主配当(1株当たり1,000円)を実施しました。

<参考>

基礎利益(第一生命単体)	3,301	3,000弱
--------------	-------	--------

<参考>

11/3期 3Q累計	進捗率
34,016	79%
31,877	80%
2,083	60%
1,062	54%
1,138	54%
△97	—
156	31%
224	36%
△85	—

第一生命

ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー

- 企業価値を示すエンベディッド・バリュー(試算値)は、9月末から12月末にかけて増加
- 金利上昇等により、修正純資産は減少したものの、保有契約価値がそれ以上に増加

第一生命グループのEEV(試算値)

(億円)

	10/9末	10/12末	増減
EEV	21,423	約23,000	約+2,000
修正純資産	20,516	約18,000	約▲2,000
保有契約価値	907	約5,000	約+4,000

第一生命単体(試算値)

(億円)

	10/9末	10/12末	増減
EEV	21,989	約24,000	約+2,000
修正純資産	21,141	約19,000	約▲2,000
保有契約価値	847	約5,000	約+4,000

第一フロンティア生命(試算値)

(億円)

	10/9末	10/12末	増減
EEV	1,187	約1,300	約+200
修正純資産	1,120	約1,100	約▲0
保有契約価値	67	約200	約+200

(1) 2010年12月末の保有契約をベースとしています。

(2) 経済前提は2010年12月末、非経済前提は2010年3月末のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。

※ なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

第一生命

豪タワー社の完全子会社化

■ 持分法適用関連会社であるタワー社との間で、当社未保有のタワー社株式の全株取得に関する契約を締結

取引形態： スキーム・オブ・アレンジメント(被買収企業の協力が前提となる、豪州における友好的な買収で一般的に使用される手法)。タワー社の独立取締役は、本件が同社株主の利益に資するとの第三者(Independent Expert)意見が得られることなどを条件として、全員が本件に賛同しており、当社による株式取得を同社株主に推奨することを表明。

主な要件⁽¹⁾： ①タワー社株主総会における投票議決権の75%以上かつ出席投票株主の過半数の承認、②裁判所の承認

株式取得金額⁽²⁾： 総額1,193百万豪ドル(約996億円⁽³⁾⁽⁴⁾)、1株当たり4.00豪ドル

取得資金： 当社が保有する手元資金を充当する予定

完了時期： 2011年5月(予定)

(1) 金融庁およびオーストラリアの監督当局からの認可取得を前提としています。

(2) 株式取得金額以外に、タワー社の経営陣等に付与されているストックオプション等の現金化対応として、70百万豪ドル(約58億円)程度の支払いを行う予定。

(3) 1豪ドル=83.55円で換算。

(4) 実際の円貨金額は、取引実施時点の為替レートによって変動。

いちばん、人を考える会社になる。

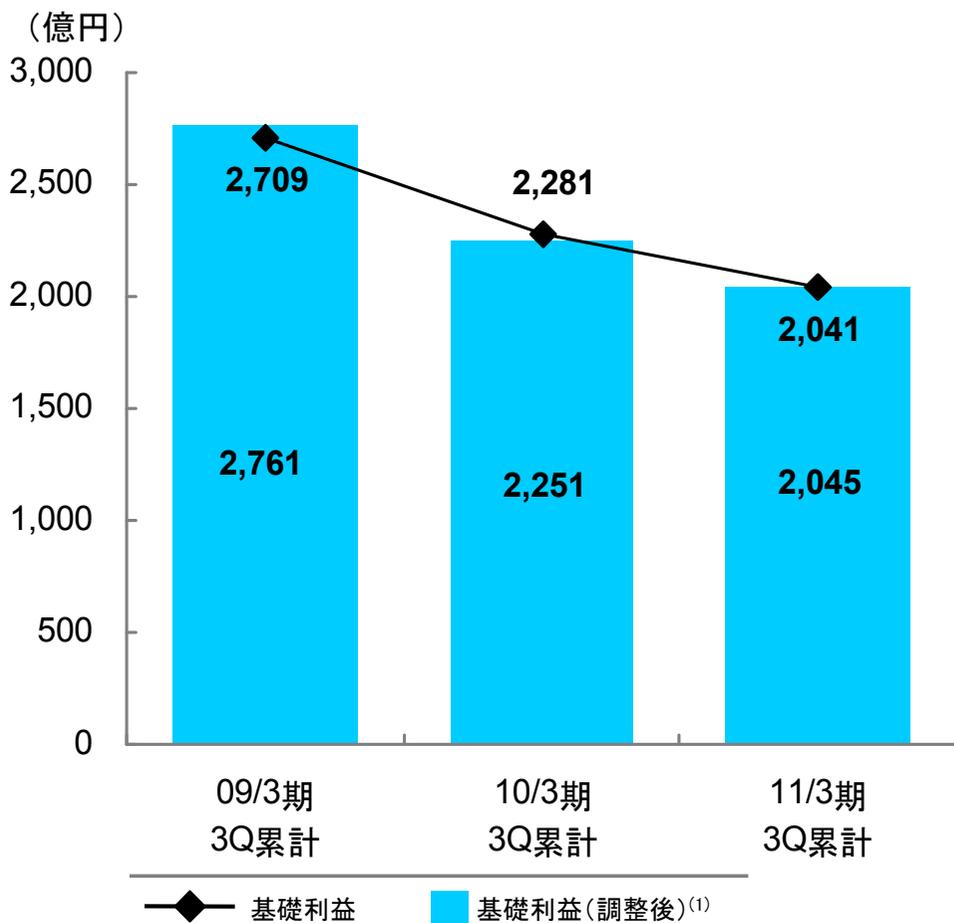
第一生命

参考データ

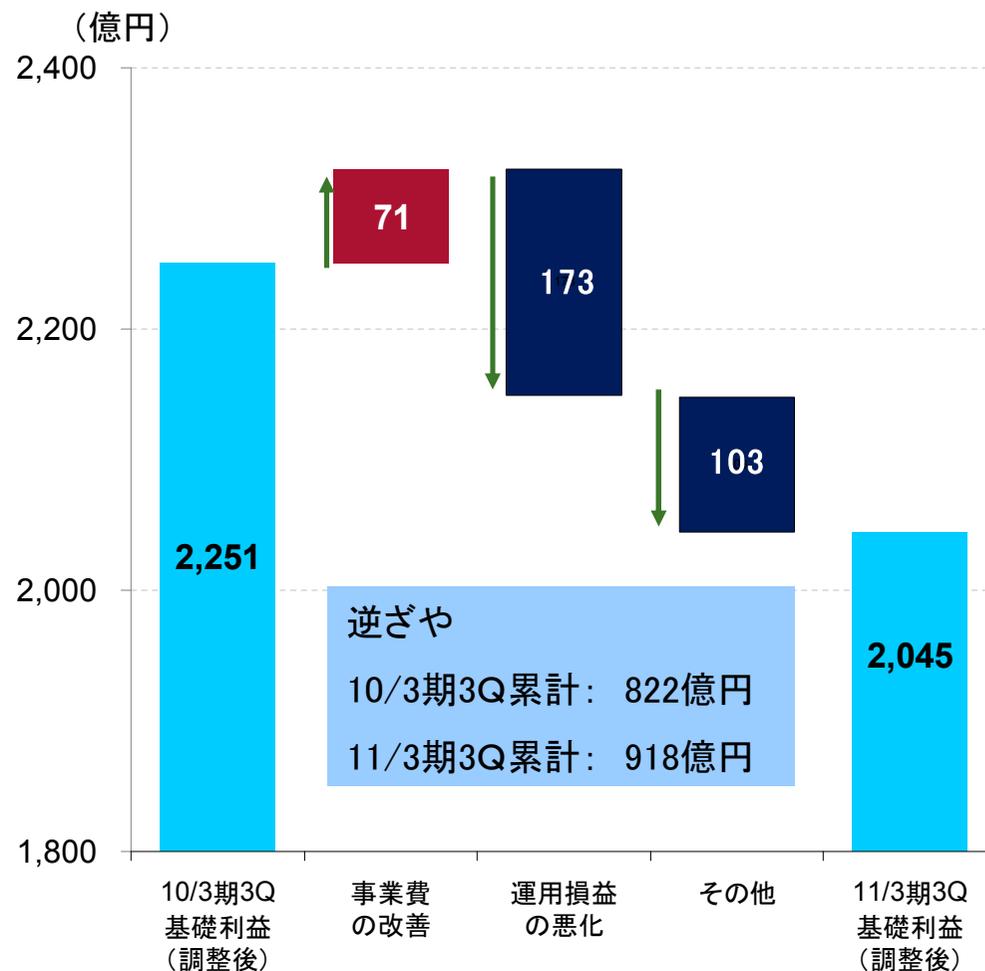
第一生命

第一生命(単体)基礎利益

基礎利益



基礎利益(調整後)の変動要因⁽¹⁾



(1) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

金融市場への感応度(2010年12月末)

	感応度 ⁽¹⁾⁽²⁾	含み損益ゼロ水準 ⁽²⁾⁽³⁾
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 2,400億円(2,700億円)の増減	日経平均株価 ¥8,700 (¥8,700)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 1,600億円(1,500億円)の増減	10年国債利回り 1.5% (1.6%)
外国証券	ドル／円 1円の変動で 190億円(180億円)の増減	ドル／円 \$1 = ¥90 (¥95)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度。

(2) ()の数値は2010年3月末の水準。

(3) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準。

第一生命

第一生命(単体)財務諸表

損益計算書(要約)⁽¹⁾

(億円)

	10/3期 3Q累計	11/3期 3Q累計	増減
経常収益	31,654	31,877	+222
保険料等収入	20,912	23,005	+2,093
資産運用収益	8,633	6,791	△1,842
うち利息・配当金等収入	5,105	5,013	△91
うち有価証券売却益	1,904	1,608	△295
うち金融派生商品収益	-	150	+150
うち特別勘定資産運用益	1,548	-	△1,548
その他経常収益	2,108	2,080	△28
経常費用	30,315	30,738	+423
うち保険金等支払金	18,925	18,646	△278
うち責任準備金等繰入額	2,607	3,021	+414
うち資産運用費用	2,465	2,713	+248
うち有価証券売却損	1,045	879	△166
うち有価証券評価損	610	691	+80
うち特別勘定資産運用損	-	416	+416
うち事業費	3,180	3,109	△71
経常利益	1,339	1,138	△200
特別損益	△172	△172	△0
契約者配当準備金繰入額 ⁽¹⁾	693	600	△93
税引前四半期純利益 ⁽¹⁾⁽²⁾	473	366	△107
法人税等合計	104	141	+37
四半期純利益 ⁽¹⁾⁽²⁾	369	224	△144

貸借対照表(要約)

(億円)

	10/4始	10/12末	増減
資産の部合計	308,224	309,898	+1,673
うち現預金・コール	3,976	3,990	+14
うち買入金銭債権	2,898	2,956	+57
うち有価証券	239,879	241,588	+1,709
うち貸付金	38,343	36,978	△1,365
うち有形固定資産	12,436	12,896	+460
うち繰延税金資産	3,376	4,054	+678
負債の部合計	298,221	301,136	+2,914
うち保険契約準備金	278,962	281,647	+2,685
うち責任準備金	273,248	276,194	+2,946
うち危険準備金	5,270	5,281	+10
うち退職給付引当金	4,096	4,245	+148
うち価格変動準備金	1,154	1,259	+105
純資産の部合計	10,003	8,761	△1,241
うち株主資本合計	6,046	6,186	+139
うち評価・換算差額等合計	3,956	2,575	△1,381
うちその他有価証券評価差額金	4,611	3,215	△1,395
うち土地再評価差額金	△635	△650	△15

(1) 前年同期との比較を可能にするため、10/3期3Q累計については、11/3期3Q累計と同様に契約者配当準備金繰入額を計上したと仮定しています。具体的には、10/3期に計上した契約者配当引当金繰入額925億円に3/4を乗じた金額を、契約者配当準備金繰入額として記載し四半期純剰余より控除しています。

(2) 第一生命は10/3期3Qにおいて相互会社でありましたが、四半期純剰余に代えて四半期純利益と記載しています。



第一フロンティア生命(単体)財務諸表

損益計算書(要約)

(億円)

	10/3期 3Q累計	11/3期 3Q累計	増減
経常収益	8,481	2,083	△6,397
うち保険料等収入	7,762	2,051	△5,711
うち資産運用収益	716	32	△684
経常費用	8,520	2,181	△6,339
うち保険金等支払金	267	607	+340
うち責任準備金等繰入額	7,784	1,258	△6,525
うち資産運用費用	74	229	+154
うち事業費	349	79	△269
経常損益	△39	△97	△58
特別損益	△0	2	+2
税引前四半期純損益	△39	△94	△55
法人税等合計	0	0	+0
四半期純損益	△39	△94	△55

貸借対照表(要約)

(億円)

	10/3末	10/12末	増減
資産の部合計	14,231	15,393	+1,161
うち現預金・コール	300	182	△117
うち有価証券	13,135	14,265	+1,129
負債の部合計	13,057	14,305	+1,248
うち保険契約準備金	13,002	14,261	+1,258
うち責任準備金	12,996	14,254	+1,257
うち危険準備金	447	460	+12
純資産の部合計	1,174	1,087	△86
うち株主資本合計	1,162	1,067	△94
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△687	△782	△94

第一生命

本資料の問い合わせ先

第一生命保険株式会社
経営企画部 IR室
電話:050-3780-6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。